



## 平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成31年2月8日

上場会社名 日本プラスト株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7291 URL <http://www.n-plast.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永野 博久  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長兼経理部長 (氏名) 豊田 剛志 TEL 0544-58-9060  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	85,449	0.4	3,635	56.1	3,566	46.7	2,480	96.2
30年3月期第3四半期	85,073	△10.5	2,328	△52.1	2,431	△43.8	1,263	△64.5

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 1,670百万円 (25.7%) 30年3月期第3四半期 1,329百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	127.93	—
30年3月期第3四半期	78.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	76,679	32,636	42.6
30年3月期	77,747	31,296	40.3

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 32,636百万円 30年3月期 31,296百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	6.50	—	8.50	15.00
31年3月期	—	8.50	—		
31年3月期(予想)				8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	0.3	5,000	28.7	4,700	27.8	3,200	58.8	165.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	19,410,000株	30年3月期	19,410,000株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	24,090株	30年3月期	23,192株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	19,386,394株	30年3月期3Q	16,054,811株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国を中心とした海外経済の回復を受け堅調に推移いたしました。夏場に相次いで発生した自然災害による影響も概ね順調に復旧し、景気の下押しは一時的なものにとどまりました。一方、世界経済では好調を続けるアメリカ経済に反し、中国経済は、シャドーバンキング規制強化等の金融リスク対策や、小型車減税終了前の駆け込み反動等での個人消費の鈍化に加え、米中通商摩擦に伴う輸出の減少により、成長率が緩やかに低下しました。欧州経済においても米中問題激化懸念に加え、新興国市場の動揺、英国EU離脱問題等により、景気は減速に転じました。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間における売上高は、北米におけるセダン系の販売不振による減収はあったものの、新車効果等により、前年同期比0.4%増の85,449百万円となりました。損益面では、北米における減収影響はあったものの、日本・北米での新車効果に加え、アジアでの付加価値の内部取込み等により、営業利益は前年同期比56.1%増の3,635百万円、経常利益は前年同期比46.7%増の3,566百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比96.2%増の2,480百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、76,679百万円となり、前連結会計年度に比べ1,068百万円減少しました。これは受取手形及び売掛金の減少1,525百万円が主な要因であります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、44,042百万円となり、前連結会計年度に比べ2,408百万円減少しました。これは長期借入金の減少691百万円、短期借入金の減少479百万円および支払手形及び買掛金の減少392百万円が主な要因であります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、32,636百万円となり、前連結会計年度に比べ1,340百万円増加しました。これは利益剰余金の増加2,150百万円が主な要因であります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点においては平成30年5月11日公表の業績予想より変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,978	8,623
受取手形及び売掛金	17,455	15,930
製品	1,660	1,683
仕掛品	961	1,160
原材料及び貯蔵品	9,861	10,337
その他	2,596	2,638
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	40,510	40,371
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,348	10,131
機械装置及び運搬具(純額)	11,060	12,046
工具、器具及び備品(純額)	3,834	3,951
土地	4,447	4,453
その他(純額)	2,317	918
有形固定資産合計	32,008	31,501
無形固定資産		
のれん	18	4
特許権	562	468
その他	1,105	1,066
無形固定資産合計	1,686	1,540
投資その他の資産		
投資有価証券	2,472	2,286
繰延税金資産	303	315
その他	774	671
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	3,541	3,265
固定資産合計	37,236	36,307
資産合計	77,747	76,679

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,246	12,854
短期借入金	11,722	11,242
1年内返済予定の長期借入金	3,963	3,703
未払法人税等	414	173
賞与引当金	848	522
役員賞与引当金	90	65
製品保証引当金	138	116
その他	5,984	5,919
流動負債合計	36,408	34,596
固定負債		
長期借入金	6,428	5,736
繰延税金負債	104	269
退職給付に係る負債	2,755	2,640
役員退職慰労引当金	499	496
その他	254	302
固定負債合計	10,042	9,445
負債合計	46,451	44,042
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,206	3,206
資本剰余金	5,213	5,213
利益剰余金	24,735	26,886
自己株式	△14	△15
株主資本合計	33,141	35,290
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	767	598
為替換算調整勘定	△2,674	△3,290
退職給付に係る調整累計額	62	38
その他の包括利益累計額合計	△1,844	△2,654
純資産合計	31,296	32,636
負債純資産合計	77,747	76,679

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	85,073	85,449
売上原価	77,062	76,381
売上総利益	8,010	9,067
販売費及び一般管理費	5,682	5,431
営業利益	2,328	3,635
営業外収益		
受取利息	47	67
受取配当金	58	63
投資不動産賃貸料	49	49
持分法による投資利益	15	24
為替差益	198	—
受取和解金	—	85
雑収入	108	135
営業外収益合計	477	425
営業外費用		
支払利息	265	321
為替差損	—	68
雑損失	108	105
営業外費用合計	374	495
経常利益	2,431	3,566
特別損失		
投資有価証券評価損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	2,430	3,566
法人税等	1,167	1,086
四半期純利益	1,263	2,480
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,263	2,480

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	1,263	2,480
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	112	△169
為替換算調整勘定	△54	△616
退職給付に係る調整額	6	△23
その他の包括利益合計	65	△809
四半期包括利益	1,329	1,670
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,329	1,670



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	北米	中国	東南アジア	
売上高					
外部顧客への売上高	25,409	37,718	19,594	2,350	85,073
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,280	26	2,625	3,440	10,372
計	29,689	37,744	22,220	5,791	95,445
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	324	△313	2,499	△125	2,384

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,384
セグメント間取引消去	△66
その他の調整	10
四半期連結損益計算書の営業利益	2,328

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	北米	中国	東南アジア	
売上高					
外部顧客への売上高	26,590	34,984	21,435	2,438	85,449
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,123	84	2,379	4,291	10,878
計	30,713	35,069	23,814	6,730	96,327
セグメント利益	884	60	2,336	541	3,822

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,822
セグメント間取引消去	△190
その他の調整	3
四半期連結損益計算書の営業利益	3,635